

退任挨拶

前会長

竹 中 登 一



皆さん、こんにちは。この2年間会長を務めさせて頂きました竹中でございます。時間が経つのは早いもので、会長就任の挨拶をしたのがついこの間のように感じていますが、この間会長の責を何とか果たすことが出来たのもひとえに会員の皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

思い起こせば、会長に就任した時にはリーマンショックによる金融危機の直後で当協会の活動も緊縮予算で臨まざるを得ませんでした。こういう危機的な状況でも将来の国力の高揚のためにはイノベーション促進が重要で、積極的な知財の確保・活用が必要として協会を

挙げて経営に資する知財活動の強化に努めてきました。お陰でこれを機に研修の運用改善を始めとして活動の質を落とさずコスト削減に努めた結果、より筋肉質な体質になったと感謝しています。

また、経済のグローバル化の進展により世界最大のユーザー団体である当協会の活動もそれに応じたものになることを祈念して、スローガンを「世界から期待され、世界をリードするJIPA」と変えましたが、3極ユーザー会議での制度調和や環境技術に関する技術移転促進のしくみであるGreen Technology Patent Package (GTPP) を提唱しWIPOを核として実現しつつあることなど、スローガンが着実に実行されつつあります。

グローバルなイノベーション促進に資するグローバルに調和した知財制度とするために、日本でのこれまでの経験を生かして当協会が中心となって今後も制度調和に貢献していくことを期待しています。その一環として、米国固有の先発明制度の先願主義への是正や日本での職務発明制度の抜本的見直しなどが課題として挙げられますが、私の在任中に進展がなかったことを残念に思います。

イギリスの世界的に権威ある知財専門誌であるManaging Intellectual Property誌において「2009年知財分野で最も影響力のある世界の50人」に選ばれたことは大変光栄な出来事でしたし、産業構造審議会知財政策部会にて特許制度改正のための議論に貢献できたことも有意義な経験でした。また、協会内でも理事会、総会、シンポジウム等の場で会員の皆様と楽しく交流し、「会長を囲む会」で委員長や知財変革リーダー育成研修修了者の皆様が元気に活躍されている姿に触れることができ、今後の協会の更なる発展を強く確信できました。

今年度からの岡本新会長は、私とは業界が違いますが、グローバルにビジネス展開されている会社の経営者として知財に対する強い信念を持たれている方ですので、新たなイノベーションの潮流に適した産業競争力向上に資する知財制度を更に磨きあげ、グローバルに推進されていくことを期待しています。

この2年間会員の皆様のご支援、ご協力を賜り、本当にありがとうございました。岡本新会長の下で協会の更なる発展をお祈りします。